



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年1月25日
東

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所
コード番号 4973 URL <http://www.netjpc.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 茂樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長兼 経営企画室長（氏名） 内田 薫（TEL）03-3550-1048
四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第3四半期	7,373	△8.3	962	△13.5	1,011	△12.3	503	△26.6
23年3月期第3四半期	8,039	37.9	1,112	6.1	1,152	6.0	685	6.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8,206.72	8,205.80
23年3月期第3四半期	11,146.35	11,144.13

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第3四半期	7,151	6,612	91.4
23年3月期	7,960	7,008	87.2

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 6,535百万円 23年3月期 6,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
24年3月期	—	4,000.00	—		
24年3月期（予想）				4,000.00	8,000.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,349	△1.9	1,440	△1.0	1,475	△1.5	795	△10.2	12,919.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	63,130株	23年3月期	63,130株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,947株	23年3月期	1,597株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	61,327株	23年3月期3Q	61,533株
----------	---------	----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	6
（3）継続企業の前提に関する注記	7
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
（5）重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期業績の概要は以下の通りであります。

当期のわが国経済は、東日本大震災による景気の急激な落ち込みから回復に転じたものの、電力不足はじめ供給制約から景気の足取りは鈍く、加えて欧州債務危機と新興国の金融引締めで世界景気にも陰りが出始め、急激な円高で輸出が鈍化するなど、厳しい環境が続きました。リーマンショックから3年、国際金融危機第二幕の様相を深める中で、世界同時株安にも見舞われました。

電子部品業界におきましては、景気減速懸念などから、セットメーカーは過剰在庫リスク回避のため部品調達を抑制する傾向が見受けられ、9月頃から調整色が深まってきました。それに加えてタイ洪水の影響もあり、一部のスマートフォン向けを除けば、携帯電話、パソコン、液晶テレビ向けなどの半導体や電子部品の需要は総じて低迷しました。

当社におきましては、携帯電話用高精細コネクタ向けの硬質金めっき薬品、鉛フリー対応リードフレーム向けの電解パラジウムめっき薬品、スマートフォン用半導体パッケージ基板やマザーボード向けの無電解パラジウム、金めっき薬品については、技術的な競争力と市場の旺盛なニーズに支えられ、これらの販売は堅調に推移しました。しかしながら、需要低迷の影響により、従来からの半導体パッケージ基板やフレキシブル基板に適用されている電解純金めっきや電解硬質金めっき用薬品の販売が低迷しました。

その結果、売上高は7,373,370千円（前年同四半期累計期間比8.3%減）、営業利益は962,914千円（前年同四半期累計期間比13.5%減）、経常利益は1,011,122千円（前年同四半期累計期間比12.3%減）、四半期純利益は503,294千円（前年同四半期累計期間比26.6%減）となりました。

保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損158,571千円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用2,045,330千円、コネクタ・マイクロスイッチ用2,107,777千円、リードフレーム用2,204,583千円、その他1,015,678千円であります。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の増減

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて263,430千円減少し、5,420,011千円となりました。これは主に、現金及び預金が260,079千円増加したものの、受取手形及び売掛金が532,077千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて545,410千円減少し、1,731,729千円となりました。これは主に、繰延税金資産が57,060千円増加したものの、投資有価証券が580,865千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて808,839千円減少し7,151,741千円となりました。

（負債）

流動負債は前事業年度末に比べて394,270千円減少し、324,601千円となりました。これは、主に買掛金が95,708千円減少、未払法人税等が276,640千円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べて18,422千円減少し215,035千円となりました。これは、主に役員退職慰労引当金が17,790千円増加したものの、繰延税金負債が36,390千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて412,693千円減少し、539,636千円となりました。

（純資産）

純資産合計は前事業年度末に比べて396,146千円減少し、6,612,104千円となりました。これは、主に利益剰余金が11,031千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が134,401千円減少、自己株式の取得による282,599千円の減少によるものであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,345,912	3,605,991
受取手形及び売掛金	2,020,663	1,488,586
商品及び製品	65,245	61,766
原材料及び貯蔵品	161,698	208,718
その他	89,921	54,948
流動資産合計	5,683,441	5,420,011
固定資産		
有形固定資産	70,238	55,401
無形固定資産	73,318	67,641
投資その他の資産		
投資有価証券	2,100,873	1,520,008
その他	32,708	88,677
投資その他の資産合計	2,133,582	1,608,685
固定資産合計	2,277,139	1,731,729
資産合計	7,960,580	7,151,741
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,966	202,258
未払法人税等	288,472	11,832
賞与引当金	66,000	31,500
その他	66,432	79,011
流動負債合計	718,871	324,601
固定負債		
繰延税金負債	36,390	—
資産除去債務	23,787	23,965
役員退職慰労引当金	173,280	191,070
固定負債合計	233,457	215,035
負債合計	952,329	539,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,279,182	1,279,182
資本剰余金	1,022,894	1,022,894
利益剰余金	4,882,117	4,893,148
自己株式	△421,730	△704,329
株主資本合計	6,762,464	6,490,895
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179,448	45,047
評価・換算差額等合計	179,448	45,047
新株予約権	66,337	76,160
純資産合計	7,008,250	6,612,104
負債純資産合計	7,960,580	7,151,741

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
売上高	8,039,871	7,373,370
売上原価	6,226,363	5,696,882
売上総利益	1,813,507	1,676,487
販売費及び一般管理費	700,590	713,573
営業利益	1,112,916	962,914
営業外収益		
受取利息	585	408
受取配当金	32,908	41,436
有価証券利息	4,702	4,702
その他	3,861	2,215
営業外収益合計	42,057	48,763
営業外費用		
自己株式取得費用	—	556
為替差損	2,183	—
その他	14	—
営業外費用合計	2,197	556
経常利益	1,152,777	1,011,122
特別利益		
新株予約権戻入益	4,503	—
特別利益合計	4,503	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	158,571
固定資産除却損	29	165
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,393	—
特別損失合計	19,422	158,737
税引前四半期純利益	1,137,858	852,384
法人税、住民税及び事業税	421,938	306,908
法人税等調整額	30,050	42,181
法人税等合計	451,989	349,090
四半期純利益	685,868	503,294

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）重要な後発事象

当第3四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。